季の色ーフィルムがとらえた大地

綿引幸造写真展

Watabiki Kozo

2014年
4月8日(火)～
6月25日(水)

Kushiro Art Museum
芸術館

北海道立釧路芸術館

主　催：北海道立釧路芸術館、北海道新聞釧路支社
後　援：釧路市、釧路市教育委員会、NHK釧路放送局、FMくしろ
協　賛：道立釧路芸術館ポポ＆もの会、釧路芸術館ボランティアの会SOA

《苔の洞門》(千歳市)(部分)1986年　北海道循環器病院蔵

①

季の色（とき　いろ）－フィルムがとらえた大地

綿引幸造写真展

Watabiki Kozo

自然美に魅せられた写真家、綿引幸造。日本列島を南から北へと縦断し、1968（昭和43）年2月に初めて知床の斜里海岸を訪れた綿引は、一面の流氷に映える夕景に魅了されました。そして知床の四季折々の美を求めて旅を繰り返し、1977（昭和52）年には埼玉県から札幌に拠点を移しました。以後は道内全域をエリアに活動を展開。綿引の写真は自然のうつろいがかもし出す微妙な変化をとらえ、抑制された光を映し出した美の世界を特徴としています。

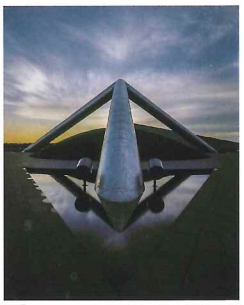
1988（昭和63）年には、彫刻家、安田侃（かん）の作品の撮影に着手しました。「自然と彫刻の調和」をテーマとした作品は海外でも大きな注目を集め、新たな表現世界を切り開いていきました。そして、イサム・ノグチや陶芸家、中島宏の作品の撮影にも取り組んでいきました。

本展は、長年にわたり北海道を代表する写真家として第一線での活躍を続け、また国際的にも高い評価を確立した綿引幸造の没後初の回顧展としてその全容に迫ります。

②

綿引幸造（わたびき・こうぞう　1932－2010）

栃木県宇都宮市生まれ。1960年よりフリーのカメラマンとなる。個展を中心に発表、また多くの写真集を出版する。1998年、第27回札幌市民芸術賞受賞。2001年、ミラノ市庁舎宮殿（イタリア）にて個展開催、同年、第3回ジュセッペ・ツュローニ賞（イタリア）を受賞。



③

④

①《大樹と朝もやの中の彫刻　意心帰》（イギリス）1994年
②《新雪の M. Cadini と秋の樹林》（イタリア）1999年
③《テトラマウンド》（札幌市）1997年
④《秋色の緑沼》（上川町）1985年

すべて個人蔵

関連事業

●講演会
「私のみてきた北海道の自然写真家たち」
日時：5月25日（日）　14：00～
講師：水越　武氏（写真家、弟子屈町在住）
会場：当館アートホール（聴講無料）

●ギャラリー・トーク
「写真家・綿引幸造の世界」
日時：5月4日、6月8日
（いずれも日曜日）　14：00～
講師：当館学芸員
会場：当館展示室（要・観覧券）

イベント
●アートシネマ館
4月26日（土）、5月24日（土）、6月21日（土）
10：00～／14：00～（2回上映）
会場：当館アートホール（入場無料）

次回展のごあんない
ももちゃん芸術祭2014
光と音のページェント
7月4日（金）～8月27日（水）

こちらもどうぞ（釧路市立美術館の展覧会）
プチ・コレ　はるいろ展
3月1日（土）～4月20日（日）
四神の書展
5月10日（土）～6月22日（日）

（お問い合わせ）
釧路市立美術館（まなぼっと幣舞3F）
TEL. 0154－42－6116（直通）

開館時間：午前9時30分～午後5時
休　館　日：毎週月曜日（ただし5月5日、6月23日は開館）、5月7日（水）

金・土は18：00まで開館延長

観　覧　料：一般600（500）円、高大生300（200）円、小中生100（50）円
（　）内は、10名以上の団体、親子、リピーター料金
＊障がい者手帳等を提示の方は無料　＊親子料金＝高校生以下の子とその親
＊リピーター料金＝当館の展覧会チケット半券を提示の方
釧路、根室管内在住の小・中・高生は無料
（釧路芸術館ボランティアの会SOA平成26年度招待事業）

Kushiro Art Museum
芸術館
北海道立釧路芸術館
Kushiro Art Museum, Hokkaido
〒085－0017 釧路市幸町4－1－5
TEL 0154－23－2381
FAX 0154－23－2386
http://www.kushiro-artmu.jp

［指定管理者］NTT北海道グループ共同事業体　［施設設置者］北海道教育委員会（北海道教育庁生涯学習推進局 文化財・博物館課 代表 Tel.011-231-4111）